

## Press Release

2013年8月14日

メドピア株式会社

### 「混合医療の拡大」について

#### 75%以上が混合医療の拡大について賛成している

医師約6万人が参加する医師専用サイト「MedPeer」(メドピア、<https://medpeer.jp/>) を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽 (医師)>は、会員医師を対象に「混合医療の拡大」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

#### 医師専門サイトMedPeer調査結果：「混合医療の拡大」について (総回答：3,199人)

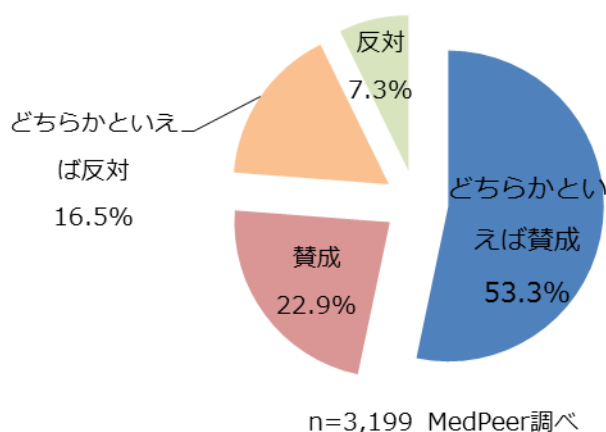
| 順位 | 回答         | 回答数 (人) | 占有率    |
|----|------------|---------|--------|
| 1  | どちらかといえば賛成 | 1,705   | 53.3%  |
| 2  | 賛成         | 733     | 22.9%  |
| 3  | どちらかといえば反対 | 529     | 16.5%  |
| 4  | 反対         | 232     | 7.3%   |
| -  | 合計         | 3,199   | 100.0% |

#### サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer (メドピア) に登録する医師 (6万人以上) を対象に「**混合医療の拡大についてどう思いますか?**」という質問をしたところ、**3,199**件の回答が寄せられた。
- 「どちらかといえば賛成」は53.3%、「賛成」は22.9%で、両方を合わせると76.2%という結果となった。「治療の幅が広がる」「より速く最新医療の導入できる」という積極的な意見がある反面、「混合医療でないとな国の財政が破綻する」「時代の流れ」という消極的なコメントもみられる。
- また、賛成意見の中にも不安要素を含むコメントは多く、「無制限に混合診療を行うことには反対」「悪用する医師がいないか心配」「患者さんからの要求はきびしくなりそう」といった声があった。
- 「どちらかといえば反対」は16.5%、「反対」は7.3%。「自由診療が拡大して国民皆保険制度が崩壊する」「貧富の差が受けられる医療の差に繋がっていく」という懸念を訴えるコメントが目立つ。「厚労省が保

「適応薬剤の認可を遅らせないか心配」という声もあった。

## ▼総合結果



## 回答コメント（回答一部を抜粋）

### 「どちらかといえば賛成」 1,705件

- ・賛成なのですが、現在の保険診療部分を自由診療にしたり、先進医療で自由診療となった治療などが、時間が経ってもなかなか保険適応されないような状況になるのは心配ではあります。（30代、一般外科）
- ・患者さんからの要求はきびしくなりそうな気はしますが。（40代、一般外科）
- ・市場原理が働けば強い医療機関が残ることになり厳しい世の中になるでしょうね。（50代、一般内科）
- ・健康保険の枠内で標準的な治療をきちんと受けられるようにしておくのなら、いいのではないのでしょうか。（50代、精神科）
- ・現在の医療制度は本当に必要以上のことを（特に高齢者）しているときもあると思うので変化が必要だと思う。（40代、麻酔科）
- ・必要だが、悪用する人・病院をどうチェックしていくかが、問題だと思う。（30代、小児科）
- ・これまで病院もちであった保険診療外検査の費用を徴収しやすくなります。（40代、小児科）
- ・現時点ではごく限定的に混合診療が行われている（先進医療として）。この枠組を拡大することには賛成。ただし、無制限に混合診療を行うことには反対する。（30代、小児科）
- ・いい面で医者の治療手段は多くなると思います。しかし、経済的なことを優先する医者が少なからずいると思います。不安です。（60代、麻酔科）
- ・選択肢が増えるのは良いことだと思います。ただし、医療者側には、治療法を含めてより細かな病状説明が求められるようになると思われます。（30代、神経内科）
- ・国民皆保険を守るためにも、この流れはとめられないでしょう。（40代、精神科）
- ・保険適応範囲が縮小しないのであれば、認められるべきだと思います。（40代、整形外科・スポーツ医学）

## 「賛成」 733件

- ・ 社会保障として必要ない治療は保険適応外にすべきだと思います。(30代、神経内科)
- ・ 混合診療は医療の発展につれてやむを得ないかなと思います。(70代、脳神経外科)
- ・ 十分な安全確保策は必要でしょうが、選択肢を広げることになると思われます。(50代、放射線科)
- ・ 保険診療では最低限を保障し、オプションの部分を自費で選択できるようにするのが良いと考えます。(40代、一般外科)
- ・ 何でも強引に保険でカバーをしようというのがそもそも誤りである気がする。一方で、自費診療なら根拠もない診療も何でもやってよい権限が与えられている、医師の自由裁量の放任についてはきちんとした対応をする必要があるとも考える。(30代、小児科)
- ・ 保険診療分が保険で支払えて、自由診療分が全額自己負担になることが前提ですが賛成です。(20代、眼科)
- ・ 産婦人科は昔から混合診療を行っていたので問題はありませぬ。(50代、産婦人科)
- ・ 大いに賛成です。今日の医療進歩スピードには保険診療だけではついていけないからです。(30代、産婦人科)
- ・ 大賛成です。救命や治療のために、現在使用できない薬や器具はたくさんあります。どうしても必要な場合は持ち出しで行っていますが、矛盾を感じながら使っています。(30代、神経内科)
- ・ 実際には行われていますが、混合診療禁止のため病院の持ち出しで支払っています(患者には負担させていません)。今後も続くようだと病院の経営にも響くと思われます。(30代、消化器内科)
- ・ 残念ですが、税金が投入されているという点で現在の保険制度はすでに破綻していると思います。限られたお金をどこに使うかを考えるうえで、混合診療は避けて通れないと思います。(30代、循環器内科)
- ・ まずは保険外にてその後保険適用していけばいいと思います。保険のために治療ができないのは困ります。(40代、一般内科)
- ・ 明らかに安全で尚かつ有効な薬剤の組み合わせが保険適応でない場合がある。先進医療も結構ですが、まずは身近な症例から混合診療をしたい。リラグルチドにメトホルミンを、と言うような。(50代、代謝・内分泌科)

## 「どちらかといえば反対」 529件

- ・ 医療の崩壊を招く危険性が高い。とんでもない診療を行い法外な診療費を請求する悪質医療機関が出現する可能性が高い。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・ 混合診療の解禁は公的医療保険の崩壊につながります。治療の選択拡充は先端医療の範囲をひろげていく現行の方法でいいと思います。(50代、一般外科)
- ・ 混合診療が許可されると厚労省が保険適応薬剤の認可を遅らせないか心配なので。(40代、泌尿器科)
- ・ 治療の選択肢は増えますが、貧富の差や加入している医療保険で受けられる治療が制限される可能性もあります。(50代、眼科)
- ・ 治療の成果が満足できない場合トラブルになりそう。(40代、整形外科・スポーツ医学)
- ・ 解禁でよくなることもあるかもしれないが、むやみに解禁したらさらに医療費が上昇して取り返すかなくなるのではないかと危惧します。(50代、循環器外科)
- ・ 現在の保険制度を見直さずに混合診療すると事務処理が混乱する。(20代、小児科)
- ・ 保険診療と自由診療部分の区別がつかない患者が多く出ると思われ、対応で医療現場が混乱すると思う。(50代、消化器内科)
- ・ 結局どんどん保険外の診療が広がっていくと思います。(50代、精神科)
- ・ 国民皆保険という、非常に良いシステムが壊される危険があるから反対。高度先進医療の混合はやむを得ないと考えま

す。(60代、泌尿器科)

- ・治療効果があるのに保険診療に認められない薬剤が数多くあり困っています。認可を早める策を取るべきだと思います。  
(30代、腎臓内科・透析)

## 「反対」 232件

- ・混合診療を行うなら保険診療の拡大を行うべき。混合診療の枠が拡大すると自由診療の費用をねん出するため民間保険の加入が増大し、外国の保険会社の草刈り場になる。(50代、消化器外科)
- ・保険制度が崩壊すると混乱が生じ、これまで以上に病院の未収が増えるのでは、と危惧してしまう。(30代、精神科)
- ・現在の保険外併用療養費制度で、部分的に混合診療が行われ、その後保険診療に収載されているのが、タガが外れると自己負担の自由診療枠が拡大する恐れがある。(60代、リハビリテーション科)
- ・単純に国が拡大する医療費を個人に押し付けたいだけでしょ？なぜ、これだけ医療費が拡大するか？そこに視点を移すべき。世界に誇る皆保険制度が崩れます。(30代、精神科)
- ・薬価制度の形骸化→国民皆保険制度の崩壊は火を見るより明らかである。目先に囚われず子供や孫の代を考えるべきである。(50代、泌尿器科)
- ・国民皆保険が脅かされる事態となっております。すべて自由診療にされる危惧もあります。(40代、眼科)
- ・お金持ちだけ治療が受けられ、お金がない人は治療が受けられないことがあってはいけません。医療は平等にあるべきです。それが、その時点でのその国の医療水準です。自由診療は医療崩壊の根源です。(50代、一般内科)
- ・患者さんにもメリットが多いことは承知していますが、それ以上に祈祷まがいの代替医療に翻弄される人が増えることを心配しています。これらを信奉する人たちは新興宗教を信じる人たちと同じで法律以外に規制する方法がないからです。(50代、呼吸器内科)
- ・従来の医療は健康保険制度に支えられてきました。混合診療が拡大されれば、過剰(過大)な宣伝競争も起こりうるのではと危惧します。(50代、心療内科)
- ・貧富の差が受けられる医療の差に繋がっていくように思います。(30代、消化器内科)

## ※調査方法

### □期間：

2013年7月19日（金）～ 2013年7月25日（木）

### □有効回答：

3,199人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

### □設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

## 調査フォーム（設問文 抜粋）

政府は、健康保険が適用される保険診療と、全額自己負担の自由診療（保険外診療）を組み合わせた混合医療を拡大する方針を発表しました。まずは2013年秋をめどに抗がん剤から開始し、先進医療の対象範囲を広げていくとしています。

日本では原則禁止とされてきた本制度について、皆さまはどう思われますか？

以下の選択肢から適当なものをご選択いただき、コメント欄にその理由をご記載下さい。

- 
1. 賛成
  2. どちらかといえば賛成
  3. どちらかといえば反対
  4. 反対

## 【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：info@medpeer.co.jp

## 【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

## ■ MedPeer（メドピア）とは - 2013年7月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: <https://medpeer.jp/>）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつかるサイト」として、多くの医師に利用されています。現在の会員は6万人以上で、日本の医師の約4人に1人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約1,700の医療用医薬品に対して、25万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上